



(左上：アイス作りでワッフルコーンを焼く体験です。)

(左下：泊小学校で校舎内を案内してもらった後、遊びで交流を深めました。)



ふれあいいいかた

生涯学習だより

6年生40名が北海道を体感
小学生国内派遣研修事業



8月1日から4日までの3泊4日で、町内の小学6年生40名が北海道泊村を訪問し交流を深めました。今年は、3つのコースから見学先を各班ごとに決めました。鯨御殿とまりととまりん館を選んだ班は各1つの班のみでほかの5つの班は、泊小学校の見学を行いました。泊小の児童のみなさんに各教室を案内していただき、最後は男子は柔らかいボールを使った野球、女子は遊具を使った遊びで交流を深めました。

この研修事業では、交流事業のほかにアイヌ民族博物館・大倉山ジャンプ競技場、札幌市時計台の見学、アイスやお菓子づくり、ラフティング体験等を行い北海道を満喫しました。

9月号

平成23年9月1日発行 No.77

■発行 伊方町教育委員会
■編集 教育委員会事務局 生涯学習室

「佐田岬クォーターマラソン大会」 コース図紹介

日本で一番細長い佐田岬半島を走ろう!!

半島の尾根に沿って走るアップダウンの多いコース。瀬戸内海と宇和海をコースのいたるところで見渡すことができ、ランナーの目を楽しませてくれます。



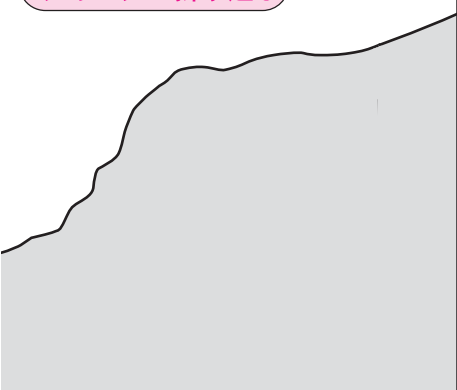
平成23年11月6日(日) 開催

種目は、

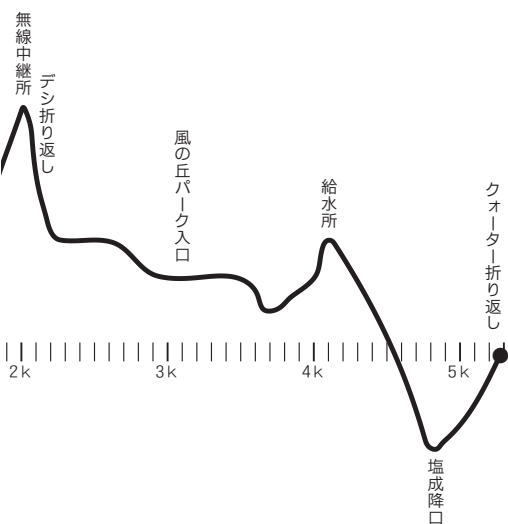
- **クォーターマラソン** (10.548 km)
- **デシマラソン** (4.219 km)
 スタート 瀬戸アグリトピア ~ 折り返し
 ゴール 瀬戸アグリトピア
- **ファミリーウォーク** (3.5 km)
 スタート せと風の丘パーク ~
 ゴール 瀬戸アグリトピア



クォーター折り返し



クォーターマラソン高低図



スタート・ゴール

(瀬戸アグリトピア)

佐田岬半島の宇和海を望む大自然のなかで、自然と触れ合いながら遊びと学習を楽しめます。アグリトピア体験農園では、さつま芋ほり体験、自然体験などを行うことができます。小・中・高、青少年団体、グループ、御家族などで利用できます。軽スポーツが実施可能な多目的ホール、30畳の研修室、IH器具を装備した調理室等の設備のある「交流センター」。バリアフリー対応・2階建など多様なログハウスが10棟あり、施設からは宇和海が一望できます。

0.6 km 付近(リゾート地区)

1.7 km 付近

(コースの中で一番勾配がきつい)

道路勾配12%の上り坂約300mを上りきると視界が開ける。目の前には大和ハウスの風車群が立ち並び、その背後には瀬戸内海。宇和海側は右手に広がる。(右手下に見える地区は、川之浜地区) 折り返した後は、高茂高原に放牧している高茂牛を見ることができるとかも？

2.1 km 付近

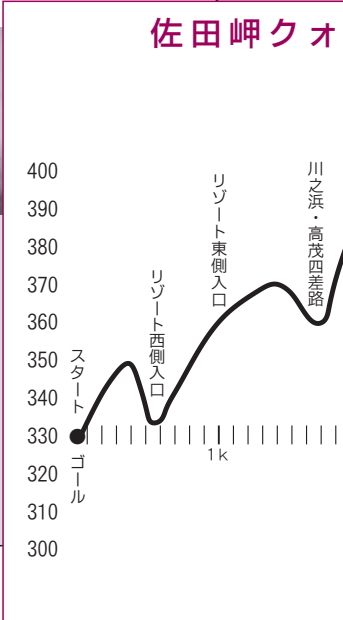
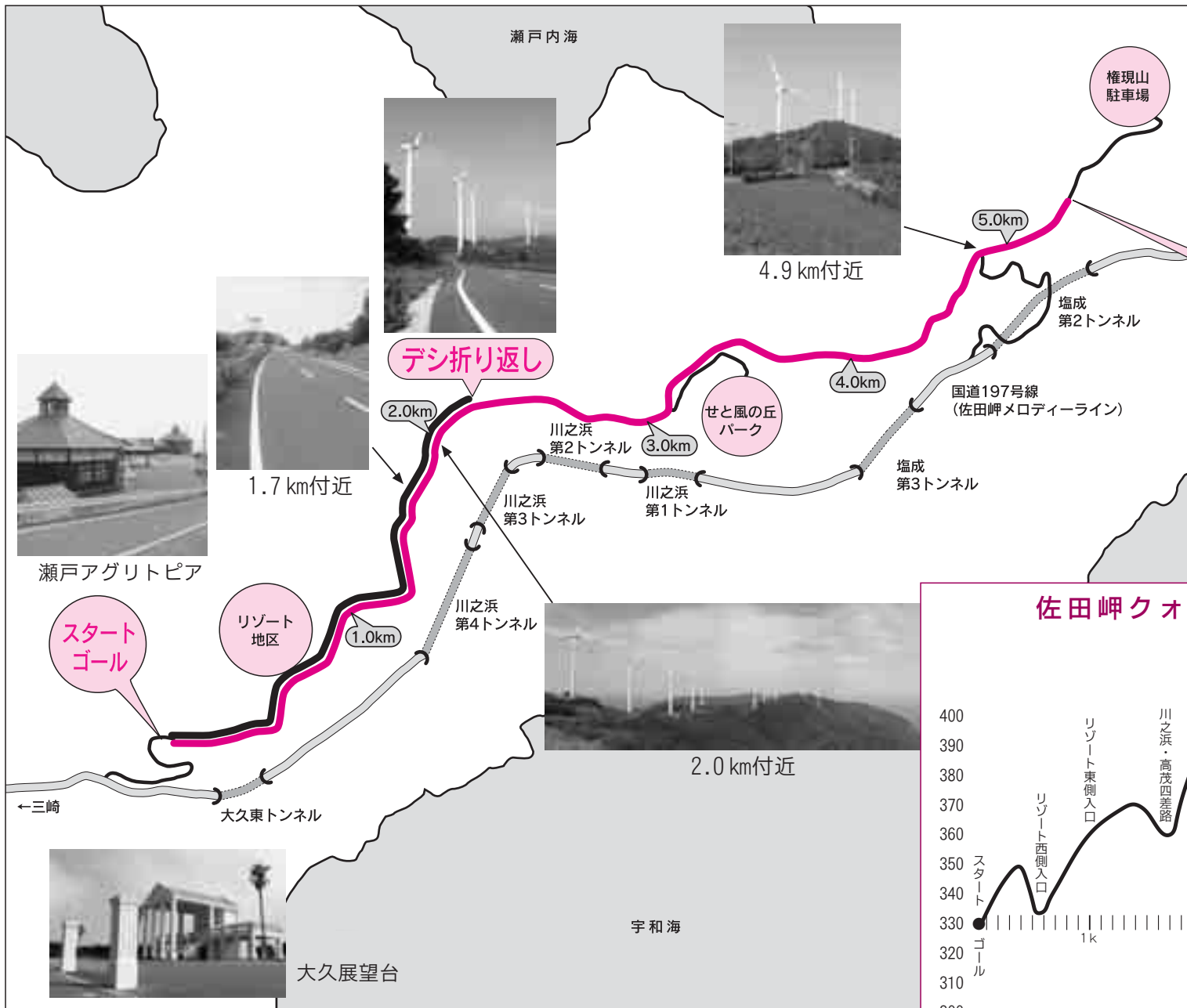
(折り返し地)

大和ハウス風車群の手前で折り返す。



デシマラソンとは??

フルマラソンの1/10の距離。デシは、ラテン語で十分の一を意味する"decimus"に由来する。



権現山展望台

権現山は、佐田岬半島宇和海県立自然公園に指定されており標高378m。パードウォッチングの場所として最適。三机湾を見下ろせ、瀬戸内海 & 宇和海を一望できます。



5.3km付近(クォーターマラソン折り返し地点)
 4.9km付近(いも畑)
 塩成地区名産の「金太郎いも」を生産している畑がひろがる。ここはコースは下り坂から上り坂に変わる。折り返し地点まで上り坂が続く。
 4.0km付近
 約700mの下り坂を宇和海を見ながら走る。
 3.1km付近
 (せと風の丘パーク入口)



決戦！ 三崎夏の陣 ～ 第61回 三崎夏季体育大会 ～

三崎公民館

三崎地域の夏の伝統行事、夏季体育大会が8月14日、三崎小中学校グラウンドを主会場に開催しました。
この大会は毎年、8月14日に開催されることから、通称『盆大会』ともいわれ、今年で61回を数えます。
出場チームは各地区ごと構成され、そこにお盆に帰省された方々も加わり、真夏の太陽が照りつける青空の下、ソフトボールやレクバレー等の各種競技で熱戦が繰り広げられました。
日ごろ、会う機会の少なかつた旧友が、スポー



(レクバレー優勝
中村チーム)



(ソフトボール優勝
中村チーム)

ツを通してお互いの絆を再確認された真夏の一日となりました。



大七夕飾り

中央公民館

今年で2年目となった七夕大飾りを8月1日から7日の間、中央公民館正面玄関に設置しました。
中央公民館ロビー、生涯学習センターの児童館に短冊を用意し来館者にお願い事を自由に書いていただきました。また、いかた学童クラブと近隣の保育所の子どもたちにも、短冊や色々な飾りを作ってもらい、笹への飾り付けにもご協力いただきました。短冊には、将来の夢やユニークな願いなどのさまざまな願い事が書かれており、自分自身の願い事を書くことにより日頃の生活の思いを改めて振り返ることができたのではないかと思います。



最近地域内では、七夕飾りをポツポツとしか見掛けなくなつたせいか足を止め、車を止め、眺めて行かれる方もおられました。時節折々の行事を行うことで、子どもたちをはじめ、地域住民が季節を感じ、情緒を豊かに育む事ができたのではないのでしょうか。



みんなで力をあわせて ～ 通学合宿 ～

中央・町見公民館



伊方小学校は、7月10日から6日間、九町小学校は、7月11日から5日間通学合宿を行いました。普段お父さんお母さんが何気なくしていることを自分たちでやってみて大変さが身にしみて感じたようです。

今回は、参加児童の声を集めました。



九町小 4年
得能琉矢さん

1日目に作ったオムライスが一番おいしかったです。卵を焼いてひっくりかえす時がむずかしかったです。ぼくは、九町っ子体験スクールに参加して楽しかったです。家の



人の大変さがわかりました。いろいろな人にお世話になりました。



九町小4年
菊池紅緒さん

5日間、たくさんの人と過ごすので助け合いながら仲良くしないといけないなと思っていました。洗濯で、やり方がわからなくても町見公民館の山岡さんや坂本さん、友だちに教えてもらったりしてきれいに洗えました。ほす時も用事がある人とかの分をほしてあげたり、



洗濯の仕方を教えてもらってます！

ほしてもらったりして助け合いながらできました。



九町小6年
大橋周平さん

ぼくが、九町っ子体験スクールをおえて学んだことは2つあります。1つ目は洗濯です。こつをつかむと、とても簡単だったけど最初のころはとても大変でした。2つ目は料理です。お母さんたちがいないと作れなかったのですが、今度料理をするときは子どもたちだけで作りたいです。



ふだんの生活をあたりまえと思わないで、色々お手伝いをしたいです。



伊方小6年
岩井優斗さん

ふだんお母さんがしていることを自分でしてみても、お母さんの大変さが分かりました。今までは、お母さんが全部してくれていたのが大変さやありがたみが分からなかったけど、このチャレンスクールで学んだことを生かしてこれからは、お母さんの手伝いをして少しでもお母さんが楽が出来るようにしたいです。



伊方小6年
川上ほのかさん

わたしが一番楽しかった思い出1位は、きもだめしです。神社の最後の階段を上った所で、風船の「パン」という音が聞こえました。こわいよいかおもしろかったです。中学生になっても参加したいです。今回で2回目だけとまだやりたい。泊まりたいと思いました。



伊方小6年
黒川貴章さん

体験する前は、整理整頓するのが苦手でした。ぼくが一番最初に将来で役立てれると思った食事づくりです。おにぎりにぎり方などいろいろ教えてもらいました。次は、服の整理です。ねる前に服をたたみました。この体験を活かして、家族に役立てるようにしたいです。



伊方小6年
吉本真日留さん

私は、4年生の時にもやったけどその時はチャレンスクールの中では一番下で、言われた事位しかやっていませんでした。今年は6年生で一番上だったので、自分たちの班の4・5年生にもちゃんと教えたりしないといけなくて、自分の事だけでも大変だったのに、みんなの事も考えることも大変でした。



学校通信



海の恵みに感謝

佐田岬小学校



佐田岬小学校では、毎年、天草の採集活動を行っています。今年度も6月30日に全校児童で天草を採集しました。講師に、渡邊PTA会長さんと堀田副会長さんをお迎えして、学校下のツナルの浜で行いました。本来であれば、天草の解禁日近くを実施する予定でしたが、天候や学校の諸行事の都合で、例年より遅く実施することとなりました。

この日は、大変天気に恵まれ、夏空の下で、23名の児童が一生懸命天草を拾いましたが、時期が遅かったせいか、例年より浜に打ち上げられた天草は少なく、児童は見つけるのに大変苦労をしていました。それでも、



膝までつかりながら、なかには、全身びしょぬれになりながらも、岩についた天草や流れ着いた天草を採集することができました。

例年よりは少ない量でしたが、この後、全校児童で採集した天草を天日干しにする作業を行いながら、おいしいトコロテン作りへと活動を広げていきます。

この美しい瀬戸内海や宇和海もまたらす海の恵みに感謝しながら、天草採集活動を通して、いつまでも美しく豊かなふるさとの海を守っていく心情を育てていきたいと思っております。

綱引きでつながる

伊方小学校

「綱引きで楽しもう」を合い言葉に、PTAスポーツ大会が実施されました。PTA専門部の学級PTA部が立案・計画し、6月参観日の恒例行事となっています。

学年PTA6チームを2リーグに分けて、総当たりで戦い、決勝戦を行います。前方で、女性パワーを発揮するお母さん達、後方でどっしりと安定した姿勢を保つお父さん達。綱を引く30秒間、一本の綱に選手の渾身の力と子どもたちの声援が集中します。体育館の人込みの中で綱引きをするような感じですが、その分選手と応援者の距離が近く、一体感があります。

決勝戦を残すのみとなったところで、お楽しみタイムが始まります。学年別親と子の対抗戦、子ども同士の男女対抗戦と、子どもたちも綱引きを楽しみます。

そして、いよいよ決勝戦。今年度決勝に残ったのは、



「若さが武器の1年生保護者」と経験豊富な6年生保護者です。会場は、最高の盛り上がりとなります。

さて、その勝負の結果は? 「やっぱり、若さには勝てんなあ。」とは、6年生の保護者から出た言葉です。その後、1年生の教室には、優勝トロフィーが1学期の間、飾られていました。

このように、子どもと保護者と職員とが、同じ空間で同じ思いを共有できた時、大きなつながりを感じることが出来ます。今後、子どもたちの豊かな育ちのために、学校と家庭とのつながりを深め、PTA活動や教育活動などを推進してまいります。





図書館だより



9月 図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

○…おはなし会
 ■…休館日

利用案内

- 開館日時／火曜日～日曜日 午前9時30分～午後6時
- 休館日／毎週月曜日(月曜日が祝日のときはその翌日も) 祝日、月末図書整理日、年末年始、蔵書点検日
- 瀬戸・三崎地域の方へ
瀬戸町民センター・三崎公民館で図書と雑誌の返却ができます。

伊方町立図書館(伊方町生涯学習センター2階)
 愛媛県西宇和郡伊方町湊浦1992番地
 TEL(0894)38-0607

新着図書

《一般書》



5年前、明治大学のサッカー部の応援で太鼓をたたいていた長友佑都は、なぜ世界一のクラブチーム・インテルに入ることができたのか? 今、最も“熱い”男が、これまでの軌跡の全てを綴る。

- 日本男児 長友 佑都 著
 - 鍵のかかった部屋 / 貴志 祐介 著
 - いつか、キャッチボールをする日 / 鯨 統一郎 著
 - 恋かたみ / 諸田 玲子 著
 - やなりいなり / 畠中 恵 著
 - 黄泉から来た女 / 内田 康夫 著
 - マザーズ / 金原 ひとみ 著
 - 死者はバスに乗って / 三輪 チサ 著
 - 財務省の階段 / 幸田 真音 著
 - ゴーストハント 4 / 小野 不由美 著
 - 一生、女の子 / 田辺 聖子 著
 - 一瞬と永遠と / 萩尾 望都 著
 - さだのはなし / さだ まさし 著
- ほか

《児童書》



今日はわたしの大好きなおじいちゃんの日。とても大切な一日だっていう。だけど、いったい何の日なんだろう…。すべての人に受け継がれる「明日」。それを、「希望」と呼ぶための物語。

- おじいちゃんの日 重松 清 著
- バナナわに / 尾崎 美紀 作、市居 みか 絵
- おたんじょうびまであとなんにち? / アンバー・スチュアート 文、レイン・マーロウ 絵
- サカサかぞくのだんなしぶいぶしなんだ / 宮西 達也 作
- おばけのパケロン バレエだいすき! / もとした いづみ 作
- つんつくせんせいといたずらぶんぶん / たかどの ほうこ 作・絵
- わすれんぼうにかんぱい! / 宮川 ひろ 作
- イナズマイレブン科学研究所 / 柳田 理科雄 著
- パンプキン! / 令丈 ヒロ子 作

ほか
 新しく購入した本は下記の図書館ホームページからもご覧いただけます。URL: <http://library.town.ikata.ehime.jp>

《お知らせ》

9月12日(月)～20日(火)は、蔵書点検のため休館します。

返却は、生涯学習センター1階の返却ポスト、瀬戸地域町民センターおよび三崎公民館をご利用ください。(CD、DVDは破損する恐れがあるため、返却ポストには入れないで下さい。)ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願ひします。

ピップスおはなし会のご案内

～ 今月のおはなし会 ～

日 時：10日(土)・24日(土) 午後1時30分～

場 所：図書館 おはなしコーナー

対象者：未就学児童および親子
 小学校低学年児童



絵本や紙芝居などたのしいおはなしを聞かせてくれるよ。みんな、きてね!

町内の小学生がスポーツで 交流を深める

7月23日(土)、伊方中学校グラウンドと伊方スポーツセンターにおいて伊方町スポーツ少年団交流大会を開催しました。町内のスポーツ少年団からソフトボールに4チーム、ミニバスケットボールに4チームが参加しました。この大会は、交流を目的にしているため勝ち負けにはあまりこだわらず、ベンチ入りした選手全員が試合に出場しました。

晴天に恵まれ非常に暑い日でしたが、子どもたちは最後まで全力で試合に臨んでいました。



川上ほのか(伊方スポーツ少年団)さんの選手宣誓

めざせ全国大会!!

2011愛媛県小学生相撲選手権大会(個人戦)で
準優勝 近藤俊一郎くん

この大会個人戦で2年連続準優勝となっている近藤俊一郎くん(伊方小)。「今年こそは優勝を」と誓い土俵に望みました。8月7日(日)松山市で開催されたこの大会には、団体戦と個人戦に出場する子どもたちが集まりました。個人戦6年生の部に出場した近藤くん。20人が参加したトーナメント戦を安定した取り口で勝ち上がりましたが、決勝戦で敗れ準優勝となりました。

阿部階喜くん(伊方小)も3位入賞を果たしました。



左：近藤俊一郎くん
右：阿部階喜くん

この2人は、8月28日(日)に徳島市で開催される四国大会に出場します。近藤くんは、「腰をおろして押しを強くすることを練習しています。」と四国大会3連覇に向けて力強く語っていただきました。

伊方スポーツセンターをより

受講生募集中!! ナチュラルYOGA II スクール

日時 9/29、10/6、13、20(1期)
19:00~19:50
場所 伊方スポーツセンター3階会議室
内容 ゆっくりとした動きで代謝を高めます。
初めての方、体の硬い方でも大丈夫です。
料金 2,000円/1期(4回コース)
700円/1回(1回コース)
曜日 毎週木曜日
定員 先着15名
対象者 60才までの健康な方

※ナチュラルYOGA II 無料体験スクール※

日時 9月15日 19:00~19:50
場所 伊方スポーツセンター3階会議室
定員 先着15名

9月8日は『ストレッチポールの日』

日頃の疲れを取りませんか?
こり固まった腰・肩・首などの筋肉をほぐし、背骨・骨盤を通常の位置に戻し、身体をリセットいたします。

日時：9月8日(木) 19:30~20:00
料金：200円
注意：妊娠中、骨粗鬆症、背骨、骨盤に疾患のある方、その他医師に運動を止められている方はご遠慮ください。

なお、くわしいお問い合わせは、下記にご連絡ください。

伊方スポーツセンター ☎38-1100
☎38-0776

児遊館より

プラバン(キーホルダー)を作っちゃおう!

9月17日(土)午後2時から、プラバン(キーホルダー)を作っちゃおう!

参加される方は当日時間までに、3階児遊館にお越し下さい。

参加費：無料

映画上映会のご案内

9月10日(土)、3階児遊館にて映画上映会を行います。
室内が狭く、人数に限りがありますので早めにお越し下さい。

場所 児遊館内集会室
作品名 ピカチュウのわんぱくアイランド
上映時間 1回目 10:00~10:45
2回目 15:00~15:45



【お問い合わせ】

伊方町生涯学習センター内 児遊館 38-0211(内線856)

(キリトリ線)

第1日曜日は『スポセンプール無料の日』

※プール無料券※

9月4日(日)にこの用紙を持参された方は伊方スポーツセンタープールの利用が無料でご利用頂けます。

日時：9月4日(日)午前9:00~12:00の間に限る。

利用人数：この用紙1枚で3名まで利用可能です。

注意：小学3年生以下のお子様は必ず保護者の方と一緒に遊泳してください。

- ：大人1人につき、子ども2名までです。
- ：体調を考えて無理なご利用はご遠慮ください。
- ：必ずこの券をご持参ください。

「ふるさと愛媛学」 地域調査、着々と進行中!

今年度、愛媛県と伊方町の教育委員会がガッチリとコンビを組んで進行中の「ふるさと愛媛学」。町内各地で皆さんのご協力を得ながら、むかしの町のようすや、暮らしぶりについて聞き書き調査が行われています。地域の魅力を再発見できるような報告書ができるよう、町民サポーターや三崎高校等と一緒に各地を奔走中! ご協力よろしくおねがいいたします!



第2回 ふるさと愛媛学サポーター養成講座

8月27日(土) 9:00開場 9:30~12:30

伊方町生涯学習センター 入場無料

佐田岬半島の自然 スライド上映会

半島周辺の島々の動植物を訪ねる

9月28日(水) 19:00~

◆ 今月のきょうどかん ◆

TEL・FAX 39-0241
(不在の場合) 38-2661 生涯学習室
■ 開館時間 9:30~16:30
■ 休館 月曜日ほか

2011年 9月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

■=おやすみ □=夜スライド上映

佐田岬民俗ノート 76

戦争の遺跡

佐田岬半島の各地には、先の戦争の際に作られたさまざまな構築物の跡が現在も残る場所があります。

明治以降、日清・日露・第一次と戦争を経て、主力が戦艦だけでなく航空機や潜水艦等も現れ始めた大正八年(一九一九)、瀬戸内海の防衛を確固たるものにするため、豊予海峡に豊予要塞を新設することが決定されました。大分県高島や鶴見崎に大砲などが建設されましたが、佐田岬半島でも、正野地区に砲台や監視所が建設されました。そのうちのひとつ、昭和二年(一九二七)頃作られた第二砲台では、今では大きな円形の水溜りとなった砲座跡と、壁面に迷彩塗装の残る地下の砲側庫が残っています。この砲座

には、直径三〇センチもある榴弾砲が備えられたそうですが、実戦で使うことなく撤去されました。この砲台を建設するために作られたという正野谷の棧橋も同時代の作で、国の登録有形文化財となっています。

ほか、佐田岬灯台近くに照明所跡(椿山展望台)、発電施設等跡(キャンプ場跡)なども残っています。

灯台の真下に見える砲台跡は終戦直前に作られたものです(一部の施設跡はその全貌が不明で今後の調査が必要ですが、大変危険な場所でもありますので、無理な見学は絶対におやめください)。



豊予要塞佐田岬第二砲台跡

三机の遠見山・伊方などでも、地元の人々が交代で見張りをした監視哨という施設があったそうで、一部は現在もその痕跡が残る場所もあります。また湊浦や二名津などでは、防空壕があったとされる場所もあるようです。終戦から六六年一決して起こしてはならない戦争、将来平和を考える礎とするためにも、町内の戦時遺産のしつかりとした調査記録と保存が求められます。



第58回 四国地区人権教育

研究大会に参加して

伊方町人権対策協議会 藤井 順子

「四国はひとつ」の合言葉で馴染みも深くなりましたこの大会。本年は、徳島県で開催されました。58回という歴史ある大会に大いなる期待を寄せて参加しました。

開会あいさつの中の一部

ですが、「同和問題ぬぎの人権教育はありえません。そのための実践教育を行ってきています。そして、これからの同和教育の充実、発展につながる人権教育研究大会です。」と満場の館内に響き渡りました。分かってはいても一番聞きだかった言葉です。

あいさつの一言一言に、長い長い取り組みから生まれた



真実の言葉の力を感じました。時代とともに、いろいろな人権問題が取りざたされていきますが、きちんと対応していく上で大事なことは、やはり同和問題なのだと思いたしました。

実践報告の中から、24年間続く識字学級について発表された年長者の女性は、「これまで人を大切にしてきた活動をこれから大切にしていきたい。」と締めくくりました。学習するということとは、習う厳しさの中に身につく確かなものがあります。明日を生きる力の源です。差別対象は減っては

いません。時代と共に新しい手法で増えています。「差別者も差別の中の犠牲者である」といわれています。本当の自分の大切さを知ると共に、他の人の大切さも認め合い、お互いに資質を高めあって明るい伊方町の明日を語り合ってくださいものです。人権は私の一生の大切なパートナーです。きちんと向き合ってくださいと思います。

私は、人権を学習して30有余年。内容も変わっているそ



うなので、機会があれば学びたいと思います。なお、今後の人権教育推進事項は、次のとおりです。

- ・ 偏見、差別は正しい知識の欠如によるもの
- ・ 家庭、学校、社会の中で正しく学んでいく
- ・ 私たちが自ら学んでゆく
- ・ 参加者同士が信頼関係を深めていくそして輪を広げる

人権に関わった格言に「知らない権利は守られない」という言葉があります。人権尊重を考える時、「これは人権である」ということを知らないために、それが奪われていたとしても奪われていることすら気づかないということほどの悲劇はありません。ですから、人権は学ぶことから始まるのです。」とあります。ひとりひとりの人権です。大切にそして学び合ってくださいませ。

高齢者と人権

瀬戸公民館

昔、夫婦と老人と4歳になる子、4人が一緒に住んでいました。老人は年をとって食べ物をこぼし、よくすよふになりました。そこで夫婦は老人をテーブルではなく、ものかげで食べさせることにしました。老人は涙をため、ため息をつきましたが、何も言いませんでした。老人は、ますます年をとり、手が震えて不自由になりました。そして、ある日、陶器の食器を落としてこわしてしまいました。

夫婦は、これからも壊されてはかなわないので、老人には粗末な木のお皿をあてがうことにしました。しばらくして、4歳の子が木片を刻んでいるのを夫婦が見つけました。

「坊や、何をしているの？」

「木でお皿をつくっているの。」

「そのお皿、何にするの？」

「うん、ぼくが大きくなるころには、パパやママも年をとるだろう。そのころ、このお皿ができればいいから、これでごはんを食べさせてあげるの。」夫婦はびくくりして、老人をもとどおりテーブルにつかせ、陶器の食器で食事をさせることにしました。

グリム童話集より

このような高齢者への理解が不十分なため、高齢者の方を邪魔者扱いしたり、差別的な態度をとったりすることも決して少なくありません。自分が高齢になったとき、若い人から同じような態度をとられたらどうでしょうか。

人は年齢を重ね、様々な人生経験を積むことにより、他人が持っていない貴重な知識を蓄えていきますが、現在、社会の中でそれを生かす場所や機会が十分に恵まれているとはいえません。

そこで地域や学校でお年寄りの知恵、経験を生かして、仕事やボランティア活動などで社会参加ができる環境を備えていけば、高齢者は「生きがい」を見つけることができ、豊かな人生を送ることが出来ます。

子どもからお年寄りまで、全ての世代がお互いに理解し助け合っていくには、高齢者の実態をありのままに受け入れ異世代と一緒に交流を深めていくことが大切ではないでしょうか。

報 文 芸

伊方俳句会

朝蟬の合唱止みて炎迫る
池田君子

蝉しぐれ体動かすことが好き
渡辺日出子

入道雲山深緑梅雨明けて
宇都宮睦子

病葉を掃き寄せ桜の樹を見上
長野しづこ

涼しさや雫残して通り雨
梶谷千代子

百日紅孫の記念樹今盛り
足利敦子

整骨院通ひつづける暑に耐へ
明神つた子

体ごと話す二才児夏来たる
門田千枝

海鳥一羽ブイに揺られて涼し
松下兼繁

早起きの足もと涼し散歩道
辻 満晴

早稲実り袂を抜ける畦の風
石井義夫

手花火の小さき思い出孫二十
上田幸香

炎天の鳥取砂丘リフト往く
井上良枝

静なり嶺線鮮か夏あざみ
上田サチエ

底抜けに素直な犬と昼寝刻
山崎美喜

宮の森小鳥さえずるパラダイ
田村智子

涼さそふ窓一面のゴーヤ棚
二宮倭文字

窓一面ゴーヤの緑涼しけれ
徳内 郁

夏祭平和を祈る大太鼓
宇都宮法子

受話器より曾孫の声や初夏の
篠川晴子

昼
朝霧の立ち込む寺に鐘一打
二宮寿賀子

老骨に鞭打ち励む山御祈禱
上田文男

鴨の声暮れて海鳴り涼しけれ
木戸悦子

鯖ずしを持たせ出航見送りぬ
吉見福子

クラゲユラユラと吾独り
岡本 登

青梅を一つ浮かべて冷酒かな
佐々木 照

瀬戸句会

青梅の採り残せしに触れてみ
佐々木禮子

八十の手習いみかんの摘花か
井上幸子

ふる里遠くここが終の地走馬
福岡 博

灯
原発と風車が同居夏の岬
北 英次

花火果つまた誕生日が近づき
伴 翔子

九十四の愛しき母に猛暑来る
伊藤植美

唸り合う奉仕作業の草刈り機
佐々木順子

汗と泥染みつ農に今日も暮
井上奈津子

石鎚のお山開きも様変わり
藤村富士子

北斗の会

人恋し木蔭もとめて押し車
西上ミツヨ

西瓜成る独り暮しも明日があ
阿部ヨシ子

宅配の疲労回復うなぎかな
松本光子

片蔭に水筒並べクロツケー
宮部タミエ

墓参り夫の自転車涼しげに
池上松子

健診の会場なごむ団扇かな
高月 仁

沿道の草刈り込んで海開き
玉里宏子

女生徒の自転車の列ベル暑し
木原敬明

朝日ざし南瓜の花の健康に
池上 馨

海開き色とりどりのテント張
池井為吉

あみだ句会